

上越市立名立中学校 学校だより



希望が丘

教育目標 「 自律 尊重 創造 」

《第6号》

上越市立名立中学校

電話 025-537-2204

Fax 025-537-2214

(令和4年11月18日発行)

響け！名中 VOICE!!

令和4年度音楽祭



10月22日（土）、午後1時から体育館で「音楽祭」を行いました。今年度のスローガンは、「響け！名中 VOICE ～新時代へ48人の想いよ届け！～」です。保護者の皆様に直接お聴きいただくのは3年ぶりです。動画配信した昨年度と違い、観客を目の前にすると、生徒も気持ちの入りが違います。実行委員長の挨拶の後、1年生から順にクラス合唱を披露しましたが、どの学年も練習の成果を十分に発揮した発表でした。

クラス合唱の後は「ザ・ブリリアント・ブラス」の5名の皆様による招待演奏を行いました。吹奏楽部のない学校では、本格的な演奏を聴く機会がなかなかありません。ディズニーの「リトル・マーメイド」の曲や、1年生が歌った「君を乗せて」など、生徒にもなじみのある曲を中心に、第1・第2トランペット、ホルン、トロンボーン、チューバの美しい音色が体育館に響き渡り、楽しんで聴くことができました。

保護者の皆様、お忙しい中ご来校いただき、またお弁当等をご用意くださり、大変ありがとうございました。来年こそは制限なく、ご来賓の皆様もお迎えして盛大に行いたいと願っております。

名立区を駆け抜けた！3年ぶりの名立駅伝

11月3日（木）、第60回名立区駅伝競走大会が開催され、名立中は体育の長距離走の集大成として、男子3チーム、女子2チームの計5チームで参加しました。東飛山の不動生産森林組合事務所前をスタートに、名立地区公民館まで6つの区間に区切られたコースを走りました。集合前にJアラートが発令するハプニングもありましたが、事前に試走を行ってコースを確認していたおかげで、みんな体育の長距離走の成果を発揮することができました。

補員になった生徒は、この日は走りませんでしたが、その分、案内やゴール等で補助役員として活躍しました。男子24チーム中、名立中男子の3チームは15位、17位、18位、女子は2チームで1位、2位を分け合いました。閉会式で表彰していただき、参加した中学生全員で記念撮影をして解散しました。スポーツの秋満喫の日でした。



文化部大活躍！芸術の秋



11月12日（土）、名立地区公民館において、演劇「～竹田勘兵衛伝～夢輝いて」が上演されました。1学期に背景画の依頼があり、実に4ヶ月をかけ、美術科講師のY先生や、公民館のH様から助けていただきながら、ようやく完成にこぎ着けました。劇の終幕で、用水の完成により水をなみなみとたたえた水田を描いた背景が現れると、観客から感嘆の声が上がりました。この劇には2年生1名が出演したほか、小道具として3年生も1名参加しました。また宝田小4年生7名もいきいきとした演技で劇を盛り上げました。

演劇に先立ち、11月5日・6日には公民館まつりが行われ、文化部の作品も展示され、受付係として活動しました。地域・保護者の皆様に、文化部が頑張っている姿をお見せすることができ、嬉しく思いました。

学校備品贈呈式

10月27日（木）、うみてらす名立を運営する株式会社B J様より、パイプ椅子12脚を寄贈していただきました。地域の将来を担う人材育成を支援するため、八十二銀行様の「地方創生・SDGs応援私募債」制度を利用して小・中学校それぞれに備品を寄贈していただいたものです。全校で贈呈式を行い、代表取締役社長様から校長に目録が手渡されると拍手が沸き起こり、その後全員で記念撮影を行いました。いただいた椅子は大切に使用させていただきます。株式会社B J様、八十二銀行様、誠にありがとうございました。



あすチャレ！ジュニアアカデミー

11月11日（金）の5・6限、「あすチャレ！ジュニアアカデミー（日本財団パラスポーツサポートセンター主催）」の授業を行いました。今年度はパラアスリートの中澤隆様を講師としてお迎えし、ご講演をいただきました。中澤様は自己紹介をされた後、ご自身の生い立ちや障がいの経緯、パラスポーツとの出会い、盲導犬を連れての生活や、その生活の中で体験したり、感じたりしたことについてお話いただきました。中澤様は、トライアスロンの大会で優勝し、プロポーズをすることができて、見えていたときよりも充実していると語ってくださいました。

講演の後半は障がいについて考える内容でした。アイマスクで視覚障がいの体験をし、また聴覚障がいをもつ人とどうしたら会話ができるかを考えました。また、パラリンピックの動画で障がいに負けずに挑戦するアスリートの姿を見せていただいた後、障がいのあるなしにかかわらず、前向きに挑戦していくことの大切さについて話してくださいました。最後に、それぞれが明日の挑戦を考える「あすチャレ！宣言」を行って、気がつくやうな90分があつという間に過ぎていきました。中澤様、心に残るお話をありがとうございました。



＜生徒の感想（抜粋）＞

中澤さんは自分のことを運動ができなくて消極的だと言っていたけど、視覚障がいになってからいろんなことに挑戦していてすごいと思いました。目が見えないからできないという考え方じゃなく、どうやったらできるかと考えることで中澤さんはピンチを乗り越えることができたのではないかと思います。（1年生）



中澤さんは、とってもきついトライアスロンの選手として日々、努力をされていてのが、とってもかっこいいと思いました。僕は消極的で、何かに挑戦するのが怖くて、いつも一歩勇気が出なかったけど、中澤さんのお話を聞いて、僕も勇気を出して一歩前へ進むことを頑張りたいです。（2年生）

「できるかできないかではなく、どうやったらできるか」はとても大切な言葉だと思いました。私にも、できないことがたくさんあります。今できることを全力で挑み、一度きりの人生を楽しみたいと思います。

また、講演のお話を聞いて、みんなが過ごしやすい世界をつくらないとだな、と思いました。今の世の中でも動物の立ち入りを禁止する飲食店があるのは少し残念でした。障がいの方にも不自由なく過ごせる世界が一番だと思います。これから少しずつ、良くなれるように私ができることをしたいと思います。（3年生）

なだち G G 交流会

10月23日（日）、なだちグラウンドゴルフ交流会が名立地区公民館グラウンドで開催されました。これは、上越市社会福祉協議会名立支所の方がお年寄りと中学生の交流のために計画した、今年度初の試みです。当初予定された10月8日が雨天で延期となり、この日の実施となりました。天気が心配されましたが、この日は好天に恵まれ、青空が広がって汗ばむほどでした。中学生は18名が参加し、最初に会場や用具の準備を行い、練習をしてから初めてのグラウンドゴルフに臨みました。お年寄りと一緒にグループで8ホールを順番に回ります。初めはぎこちない様子でしたが、徐々にゴルフに慣れてきて、夢中になってプレーしていました。大会の結果は、何と2年生男子が個人優勝し、また団体でも中学生の参加したグループが入賞し、表彰されました。

地域の皆様、中学生を支えていただきありがとうございます。行事に参加して盛り上げることも地域への貢献になると考え、できることを行っていきたいと考えています。



小中合同あいさつ運動

10月末から11月初めにかけて、宝田小学校・名立中学校合同のあいさつ運動を行いました。今回は



新しい試みとして、中学校で行っている昼のあいさつ運動の輪を小学校にも広げようと、中学生が小学校を訪問して一緒にあいさつをして学校内を回り、また小学生も中学校に来てあいさつをしました。11月2日には名立の子どもを守り育む会の方も名立中に来てくださって、一緒にあいさつをして回っていただきました。それぞれの学校のよい取組を互いに学んで、小中の連携をさらに深められるよう取り組んでまいります。

第2回学校運営協議会

10月28日（金）、宝田小学校・名立中学校合同の第2回学校運営協議会を行いました。1学期は宝田小学校で第1回の会議を行い、今回は名立中学校が会場でした。

5限の授業を参観していただき、また、文化部が作成した演劇の背景画を見ていただきました。その後の会議では、各学校がここまでの教育活動の概要と前期の学校評価について説明し、また、各校のいじめ防止基本方針についてもお話しさせていただきました。委員の皆様からは、小・中学校の様子についての御質問や、忌憚のない御意見を頂戴しました。タブレット端末の使い方など情報モラルに関わる取組も話題になりました。地域の皆様に支えられて学校は成り立っています。今後ともご支援をよろしくお願い申し上げます。

